

教職員、学生のみなさんへ

2022. 1. 17 学長 谷岡郁子

明けまして、おめでとうございます。

残念ながら、今年もコロナ問題は続いているようで、第6波が到来のようです。

オミクロン株の感染力は強力で、わが大学でも陽性者、濃厚接触者の数が10人を超えました。それぞれが別の機会に感染していることから、クラスター感染ではありません。気の緩みというよりは、感染力の強さによるものと思われます。

その一方、発症やその重症化の可能性はかなり低くなっていると思われます。これはこの間、コロナ対策の中心になってきた本学の専門家たちの見解です。そして、突然変異を繰り返すウィルスの通常のパターンで考えるならば、収束へ向かう最終局面が近づいている可能性が高いのではないかという予想です。そうであるならば、今しばらくの我慢です。

至学館大学の大学としての判断は、オミクロン株による若者への影響は、重症化しやすい既往症がない限り小さいものだということです。ですから、このウィルスの感染者が増えたからこれまで同様の危険性があるとは考えません。ただし、これはあくまで科学的知見による推測であって証明されたものではありません。また、高齢者をはじめとする低体力者にとっては、それなりの脅威である可能性もあります。学生たちの中には高齢者と同居するもの、家族が重い病気と闘っている人たちもいるのですから、やはり感染を広げないためにできるだけの予防対策を続ける必要があると思われます。

後期の授業もあと1、2回を残すのみとなっていると思いますが、実技、実習でどうしても対面の必要な授業や、卒論発表、国家試験のための模擬試験など特別な必要性があるもの以外は、できるだけ遠隔授業に切り替える方針です。最終判断は担当の各教員に委ねますが、ご協力くださるようお願いいたします。また、同居者の安全のために遠隔授業を求める学生には最大限の配慮をお願いします。

PCR 検査については、希望する学生はサポセンか学生相談室に申し出てもらえば受けることができるよう手配します。不必要な接触を避けるためできるだけ事前に電話かメールで連絡してください。陽性者や濃厚接触者の対応については、法制上保健所の指示に従うこととなります。

卒業式をちゃんとやれるよう、皆さんの協力を！春はそこまで来ています。